

【登場人物】

- ・木のようせい（木1、木2、木3）
- ・石のようせい（石1、石2、石3）
- ・水のようせい（水1、水2、水3、水4）
- ・神さま

シーン1. 木の妖精と石の妖精のケンカ

森に、木々のざわめきとスズメの声が響いている
木漏れ日が出す中、木のようせいたちが遊んでいる
そこに、石のようせいたちがやってくる

石1..おはよう

木1..え？

石2..おはよう

木2..だれですか？

石3..いやいや、俺たち石のようせいやん

木3..どういうこと？

石1..お前ら木のようせいやろ？

木2..そうですけど

石3..友だちやんか

木3..知らないですって

石2..何なんこいつら

木1..だれなんこの人ら

木のようせいたちと石のようせいたちにいやなムードが流れる
そこに、水のようせいたちがやってくる

水1..あ、おはよう

木2..おはよう

石3..おはよう

水2..みんなどうしたん？

石2..いや、こいつらが俺らのこと知らへんとかうそつくから

木1..嘘なんかついてないわ

木3..そうや、あんたらだれやねん

石1..だれやとはなんや

石3..友だちやって言ってるやろ

木3..知らん

石2..知ってる

木3..知らん

石2..知ってる

木のようせいたちと石のようせいたちが口ゲンカを始める

水3..ちよつとちよつと

水2..おちついて

木2..もう知らん

石3..こっちのセリフや

木のようせいたち、はける

石のようせいたち、木のようせいたちと逆方向にはける

シーン2. 仲直りってどうやってする？

水3..えゝ何？

水4..なんかケンカしてたなあ

水2..何でこんなことになったんやろう？

水1..私たちいつもみんな遊んでた友だちやのに

水4..仲直りしてほしいなあ

水1..みんなはいつもどうやって仲直りしてる？

木のようせいたち、思い思いの仲直り方法を話す

水1..あつ！そういえばここ京北では最近の暑さでいろんな思い出が忘れられてしまっているらしいわ

水2..じゃあまさか

水4..木のようせいたちは石のようせいたちと遊んでいた記憶を忘れてしまっている

水1..でもどうしよう

水2..あ！京北の神さまに相談してみるっていうのは？

水3..それがいい！そうしよう！

水4…でも、どうやって神さまに会うの？

水3…確かに

水4…何か大きなイベントでもないとお会いへんで

水2…どうしよう

水1…思いついた！

水234…びっくりした

水1…思いついた思いついた、3人ともちよつとこつち来て

水1、水234に自分のアイデアを話す

暗転

シーン3. イベントスタート

イベントが始まる楽しい気な音楽

明転

水1…みなさんこんにちは

水234…こんにちは

水1…今日は元気なお客さんにこんなに来てもらって、私とってもハッピーです

水234…いえーい

水1…おつとじこしようかいを忘れておりました、私はこのイベントの司会進行を努めます

水2…おつとじこしようかいを忘れておりました、私はこのイベントの司会進行を努めます

水3…おつとじこしようかいを忘れておりました、私はこのイベントの司会進行を努めます

水4…おつとじこしようかいを忘れておりました、私はこのイベントの司会進行を努めます

水1…おつとじこしようかいを忘れておりました、私はこのイベントの司会進行を努めます

水1…そして審査員はこの方です

神さま、厳かな音楽と共に登場

神さま…こんにちは

水1…はい、皆さんご存知ここ京北の神さまです

水2…はじめました

水4…わたしも

水1…ではルール説明と参りましょうか

水3…はい

水1…ルールはいたってシンプル、出場するチームは自分たちの思いのたけを相手チームに

に伝えてもらう、たったそれだけです。

水3…なるほど

水4…簡単ですね

水1…さあ、それではさっそく今回の出場者、ひとチーム目の紹介です、どうぞ！

木のようせいたち、音楽と共に出てくる

水3…こんにちは

木のようせいたち…こんにちは

水4…みなさんのお名前を聞かせてもらえますか？

木1…私たちは木のようせいの（演じている人の名前）と

木2…（演じている人の名前）と

木3…（演じている人の名前）です

水2…今日は何でこのイベントに出てくれたんですか？

木1…友だちに誘われたからです

神さま…その友だちってだれですか？

水のようせいたちを指さす

水3…えへへ

水1…出てくれてありがとうね

木1…ええよ、だって友だちやろ？

水4…うわゝ嬉しい

水1…さあそれでは続いてふたチーム目の登場です

石のようせいたち、音楽と共に出てくる

水3…こんにちは

石のようせいたち…こんにちは

水4…みなさんのお名前を聞かせてもらえますか？

石2…俺たちは石のようせいの（演じている人の名前）と

石3…（演じている人の名前）と

石1…（演じている人の名前）です

水2…みんなはどうしてこのイベントに出てくれたんですか？

石3…いや、あんたらにさそわれたからやん

石1…そうやで

石2…友だちのさそいはことわれへんなあ

水2…ありがとうな

シーン4. ようせいたちの本音

水1…さあ、それではいよいよ思いのたけを告げてもらいましょう！

水234、はける

石のようせいたち、はける

水1…まずは木のようせいの皆さんです！どうぞぞ！

【木のようせいの本音】（セリフの割り振りは木のようせいたちの中で相談して決める）

木（）…この前会った時はなんかケンカみたいになっちゃったけど

木（）…正直仲直りがしたい

木（）…全然覚えてへんけど私たちのこと友だちって言ってくれたし

木（）…また仲良くなりたい

水1…木のようせいチームの皆さんがとうございました。神さま、今のを聞いてどう思いましたか？

神さま…（それまでの話を聞いて思ったことをそのまま言う）

水1…さあ続いて石のようせいの皆さんです！

木のようせいたち、はける

石のようせいたち出てくる

水1…どうぞぞ！

【石のようせいの本音】（セリフの割り振りは石のようせいたちの中で相談して決める）

石（）…最初俺らのこと忘れてた時はめっちゃイライラした

石（）…何やねんこいつらって思ってた

石（）…でも、正直俺らも言いすぎたなって思ってる

石（）…俺たちも仲直りしたい

水1…石のようせいチームの皆さんありがとうございます。

石のようせいたち、はける

水234出てくる

水1…さあどうですか神さま

神さま…(それまでの話を聞いて思ったことをそのまま言う)

シーン5. 仲直り

水1…では今から神さまには審査をしてもらいます

神さま…決まりました

水3…え？

水4…もう？

水2…早くない？

水1…すみません、もう決まったみたいなんで両チームとも出て来て下さい

石のようせいたちと木のようせいたち出てくる

水4…それでは神さま、おねがいます！

神さま…感動した！両チーム素晴らしい

水1…じゃあ勝ったのは？

神さま…どっちが勝ちとかそういう話じゃないんだ、いいものを見せてもらった

水3…なるほど、ありがとうございます

神さま…そんな君たちのために・・・えいっ

神様の魔法がかかり、ようせいたちの思い出が蘇る

水1…これは…

石1…俺たちが

木3…仲よく遊んでる

神さま…みんなが友だちだった時の記憶をもとに戻しました

木1…どうやって？

神さま…感動したからがんばった

木3…思い出した！

木2…思い出した！

木1..私たち、一緒に楽しく遊んでた

木2..ごめんね

石2..俺たちも言い過ぎたごめん

木3..また一緒に遊んでくれる？

石1..もちろん

石3..だって友だちやろ

木1..やったー！

木2..ありがとう

水3..よかったね

水4..じゃあせっかくだし今からみんなで遊ばない？

水1..いいね

水2..ほら神さまも

神さま..え？でも

石3..友だちになろう！

神さま..うん

水1..さあ

水3..みんなで遊ぼう

みんなでワイワイと遊びながら溶暗

おしまい

エコはかせからのコメント



はじめの石の妖精と木の妖精の対決がリアルで、緊張感がありました。

そして、私が注目したのは、まんなかには立っている水の妖精さんたちです。

彼らはどちらか一方の味方につくのではなく、皆が一番いい方向、一番いい未来に向かって進めるように頑張っていました。

両方と仲良くできる水のようにせいさんがイベントを開いて、神様を連れてきてくれました。

環境問題や、国際的な問題を解決する時に、これってとても大切なんです。間に立つ国の人達の役割について、考えさせられるなあと思いました。